

2012年3月期 第2四半期決算説明会

平成23年11月11日



株式会社 **ビジネスブレイン太田昭和**
Business Brain Showa-ota Inc.

【目次】

〔会社概要〕	3	〔今期の取り組み〕	
〔事業概要〕	6	■ BBSグループ方針	28
〔業界環境〕		■ IFRSビジネスの着実な推進	29
■ IT投資計画推移	11	■ マネージメントサービス事業の拡大	30
〔決算概要〕		■ 中国ビジネスの立ち上げ	31
■ 総括	14	■ 業績予想	32
■ 連結P/L	15	〔トピックス〕	33
■ 受注状況	16		
■ 連結売上高	17		
■ 連結営業利益・経常利益	18		
■ 連結B/S	20		
■ 連結C/F	22		
■ セグメント別損益	23		
■ グループ各社の業績	26		

会社概要

【会社概要】

■社名	株式会社ビジネスブレイン太田昭和
■英 文 名	B usiness B rain S howa・ota Inc.
■本 社	東京都港区南麻布2-12-3
■事 業 所	本社、大阪支店、名古屋支店、静岡支店 静岡事業所(アウトソーシングサービス事業部)
■代 表 者	代表取締役社長 石川俊彦
■創 立	1967年8月
■資 本 金	22億3,349万円
■発行済株式数	9,046,000 株
■上 場 市 場	JASDAQ 1991年11月上場 (証券コード:9658)
■事 業 内 容	経営およびITのコンサルティング、システム開発 アウトソーシング

(2011年9月末現在)

【グループ概要】BBS Group Network



■株式会社ビジネスブレイン太田昭和
コンサルティングからシステム開発,定着化までの一貫したサービスを提供



■グローバルセキュリティエキスパート株式会社
情報セキュリティに関するコンサルティングおよびソリューションを提供



■株式会社ファイナンシャルブレインシステムズ
証券・金融分野を中心としたシステム開発・ITソリューションを提供



PLMJapan

■株式会社PLMジャパン
製造業に対するPLMソリューションを提供

コンサルティング・
システム開発
事業



■株式会社アイ・エス・エス
人材派遣・人材紹介サービスおよびデータエントリーサービスを提供



■株式会社パナッシュ
ネットワーク、サーバー等のIT運用・保守サービスを提供



■株式会社EOS
経理・財務および給与・労務管理のコンサルティング、アウトソーシングサービスを提供



■株式会社ミックス
医療・福祉機関に対するコンサルティングおよび医療事務のアウトソーシングサービスを提供

マネージメント
サービス(BPO)
事業

※(株)パナッシュと(株)EOSは2011年12月1日に合併予定

事業概要

【事業概要】BBSのミッション

『企業価値の最大化』

すべては、お客様のさらなる利益創出のために

コンサルティング

お客様のビジョンに基づき
最適な改善策を提示し
具現化します



システム インテグレーション

目標達成に必要なSIを
提供します

定着化

新たな仕組みを浸透させ
成果を見届けます

マネージメント サービス

専門的なノウハウと知見を持つ人材による
BPOソリューションを提供します

【事業概要】事業分野

■コンサルティング・システム開発事業

- 会計システムコンサル
- 会計を中心としたシステム開発
- SES(システム・エンジニアリング・サービス)
- 金融業界のシステム開発
- ネットワークセキュリティ
- PLM支援ソリューション

■マネージメントサービス(BPO)事業

- 給与・労務等に関わるアウトソーシング
(国内企業中心)
- 経理・財務等のアウトソーシング
(外資系企業中心)
- IT運用管理サービス
- 人材派遣

【事業概要】BBSが目指す方向性

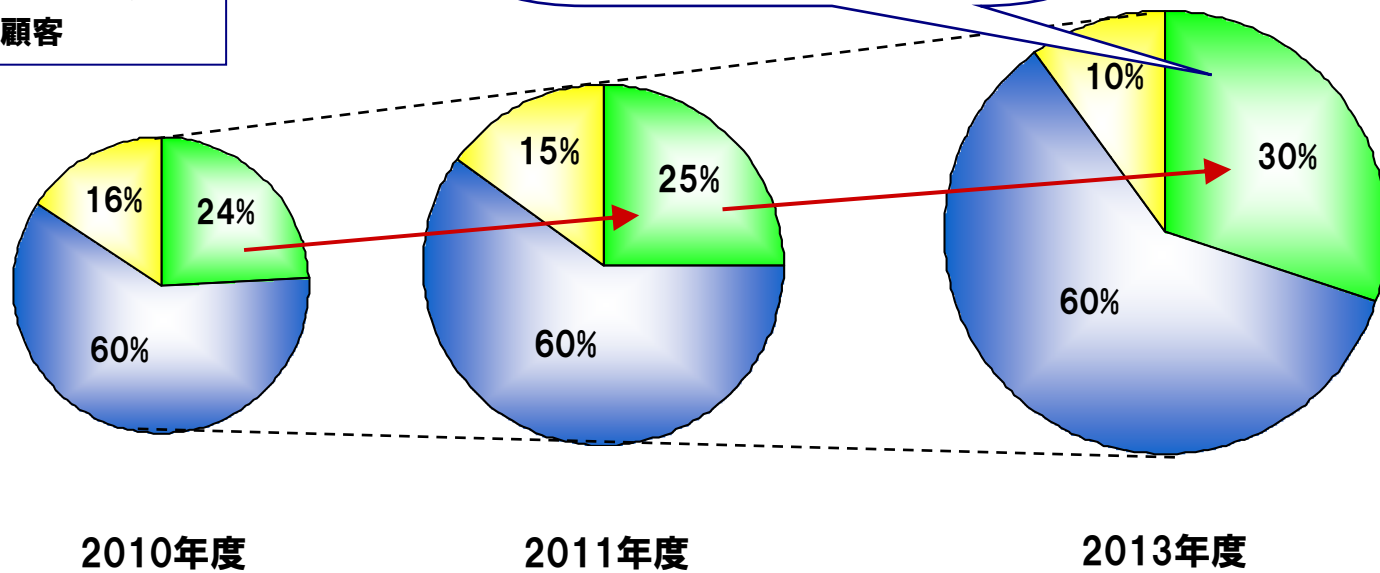
マネージメントサービスの割合を増やし**経営の安定化**を図る

- BBSグループを横断したマネージメントサービス事業の展開
- グループ間での顧客情報の共用、共同営業の実施
- 3年以内にBBSグループ内での売上の1/3を確保

【売上高に占める割合】

- マネージメントサービス
- 既存ユーザーのリピート
- 新規顧客

全体の規模を拡大しながら
マネージメントサービスの割合を
増やし「**経営の安定化**」を図る



業界環境

【業界環境】IT投資計画推移

■ 企業のソフトウェア投資額 (日銀：全国企業短期経済観測調査2010.9～2011.9より)

(リース会計対応ベース)

(前年度比・%)

短観公表時点 ⇒		2010年度 計画				2011年度 計画			
		2010/9	2010/12	2011/3	※2011/6	2011/3	2011/6	2011/9	前回比
大企業	製造業	4.1	9.0	7.8	8.0	4.0	10.3	13.7	↑
	非製造業	5.0	3.1	-1.2	-0.6	2.2	2.3	7.6	↑
	全産業	4.7	5.0	1.7	2.1	2.8	5.0	9.7	↑
中堅企業	製造業	-5.5	-0.6	-6.9	-4.2	19.2	21.7	17.9	↓
	非製造業	-0.5	-2.3	-6.6	-10.3	3.3	9.3	9.6	↑
	全産業	-1.3	-2.0	-6.7	-9.4	5.7	11.3	10.9	↓
中小企業	製造業	-2.9	9.8	3.8	3.7	5.8	10.8	6.1	↓
	非製造業	-9.8	-5.0	-10.3	-11.7	-13.2	-0.9	6.0	↑
	全産業	-8.3	-1.8	-7.3	-8.4	-8.6	2.0	6.0	↑
全規模合計	製造業	2.9	8.2	6.4	6.7	5.2	11.2	13.6	↑
	非製造業	2.8	1.5	-2.9	-3.3	1.2	3.3	7.8	↑
	全産業	2.9	3.4	-0.3	-0.4	2.4	5.7	9.6	↑

※2011/9調査：修正なし

■ 2010年度に比べ2011年度は、全般的に投資計画が上向きに。

【業界環境】IT投資計画推移

■ 金融機関のソフトウェア投資額（日銀：全国企業短期経済観測調査2010.9～2011.9より）

（リース会計対応ベース）

（前年度比・％）

短観公表時点 ⇒	2010年度 計画				2011年度 計画			
	2010/9	2010/12	2011/3	※2011/6	2011/3	2011/6	2011/9	前回比
金融機関計	3.0	2.2	0.0	-2.9	11.2	13.2	11.5	↓
銀行業	7.6	5.2	1.1	-0.2	17.0	11.5	11.3	↓
信用金庫・系統金融機関等	-12.5	0.6	-7.4	-7.4	-12.8	-17.3	-24.6	↓
金融商品取引業	-2.8	-11.3	-18.1	-25.1	-4.9	15.6	8.3	↓
保険業	-0.8	1.4	5.8	1.9	22.2	35.2	35.6	↑
貸金業・投資業等	2.0	4.5	6.3	0.7	-10.9	-8.6	-14.2	↓
全産業＋金融機関	2.9	3.1	-0.2	-1.0	4.5	7.4	10.0	↑

※2011/9調査:修正なし

■ 2011年度計画においては保険業で投資の上昇傾向が顕著。

決算概要

【決算概要】総括

- プロジェクトの徹底管理により不調プロジェクトが減少
- 稼働率の改善と固定費の圧縮により利益率が向上
- 仕訳HUBソリューション、マルチスタンダード元帳の引き合い好調
- 中国ビジネスにおいて芽が出始める
- マネージメントサービス事業本部のもとに事業統合を実施するも、現在は過渡期にあり、上期は景気低迷の影響を大きく受けて低迷



対前年同期で増収増益を達成

【決算概要】連結P/L

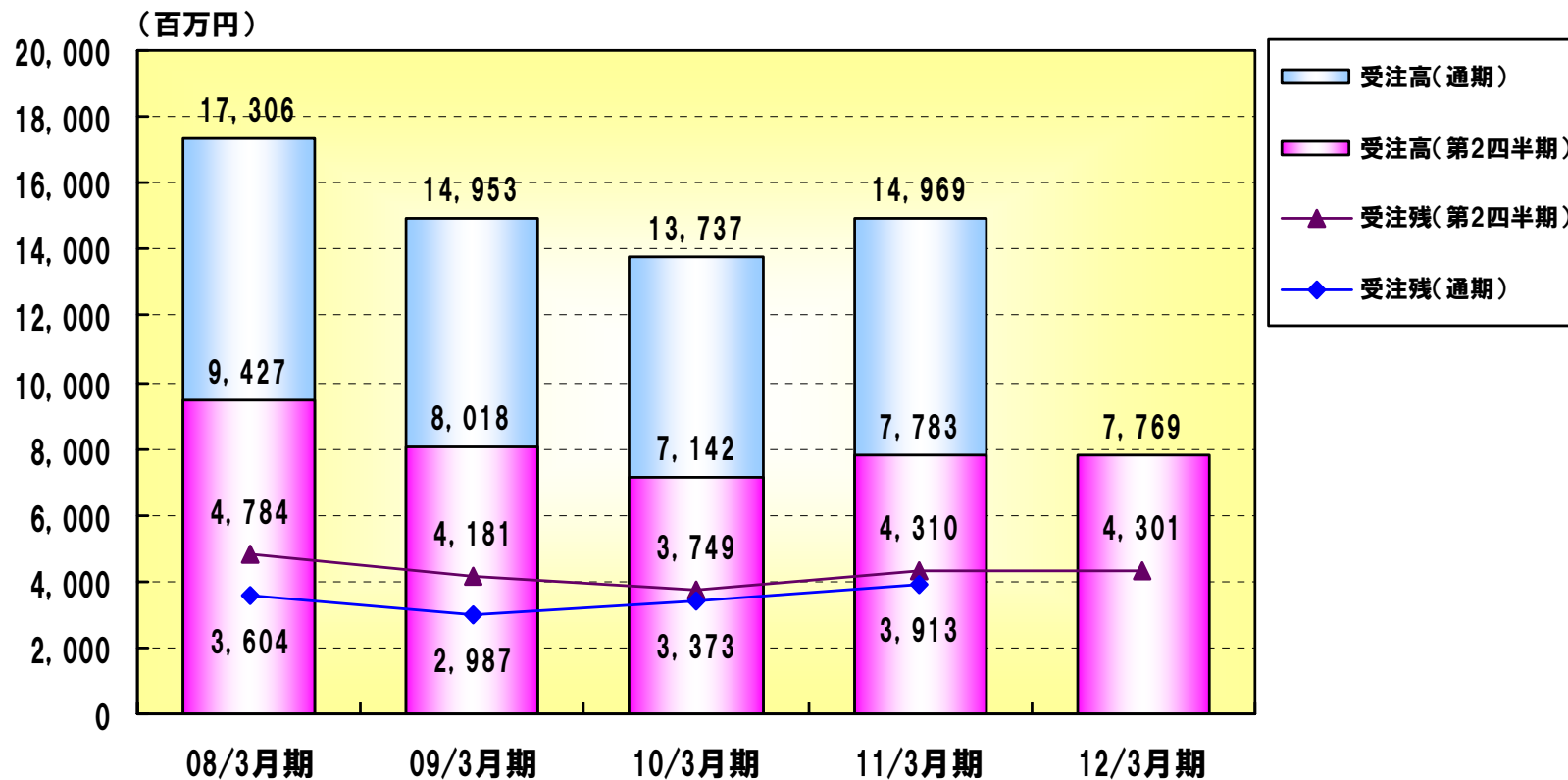
連結損益計算書

(百万円)

	2010年9月期	2011年9月期	対前年度増減	期初発表予想値	対予想値
受注高	7,783	7,769	△14	-	
売上高	6,846	7,382	536	7,300	101.1%
売上総利益	1,103	1,444	341	-	
売上総利益率	16.1%	19.6%	+3.5ポイント	-	
販管費	1,069	1,084	15	-	
営業利益	34	361	327	100	361.0%
営業利益率	0.5%	4.9%	+4.4ポイント	-	
経常利益	45	368	323	105	350.5%
経常利益率	0.7%	5.0%	+4.3ポイント	-	
四半期純利益	△26	111	137	55	201.8%
1株当たり四半期純利益	△2円92銭	13円25銭	16円17銭	6円25銭	212.0%

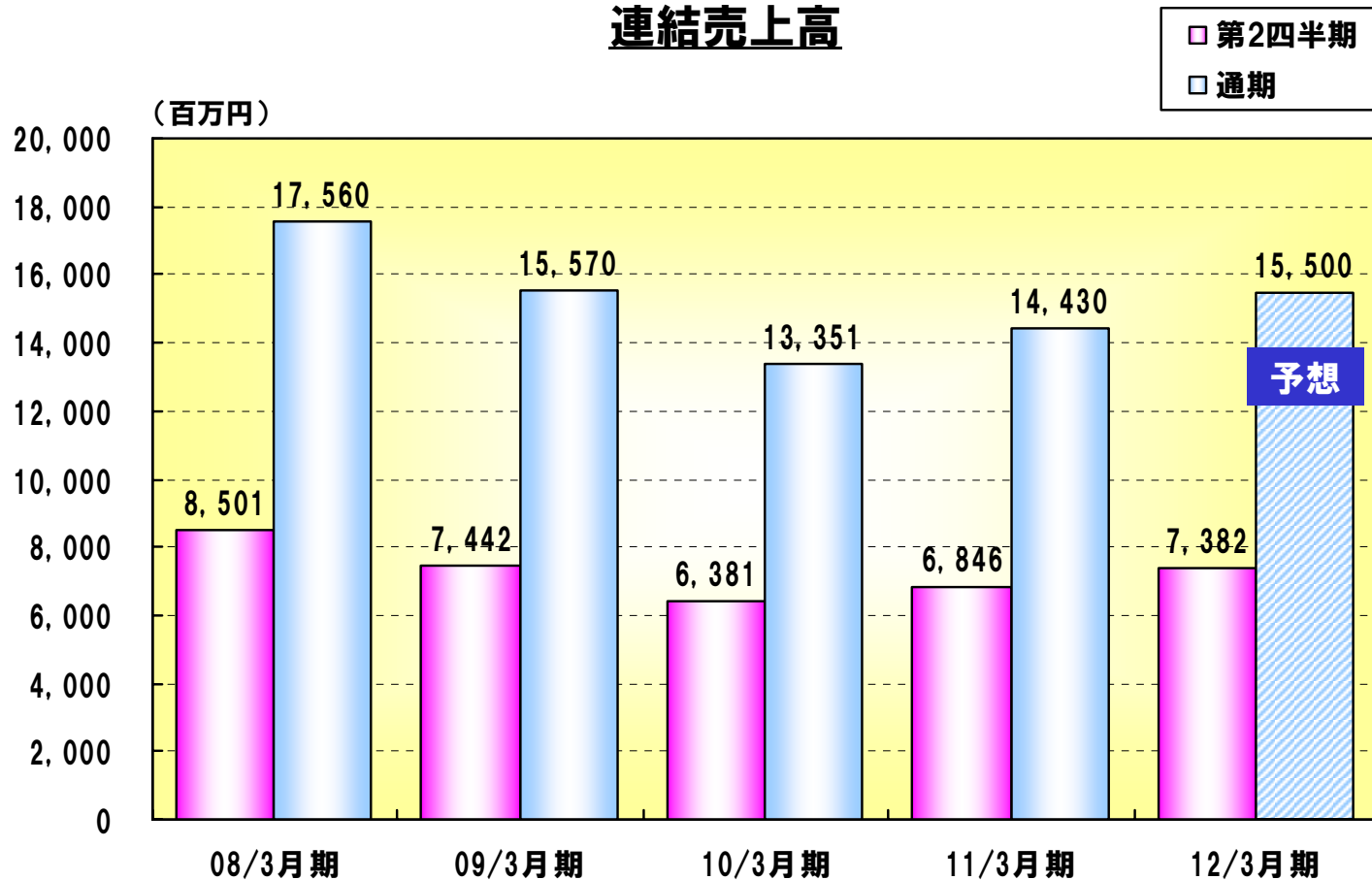
【決算概要】受注状況

受注推移

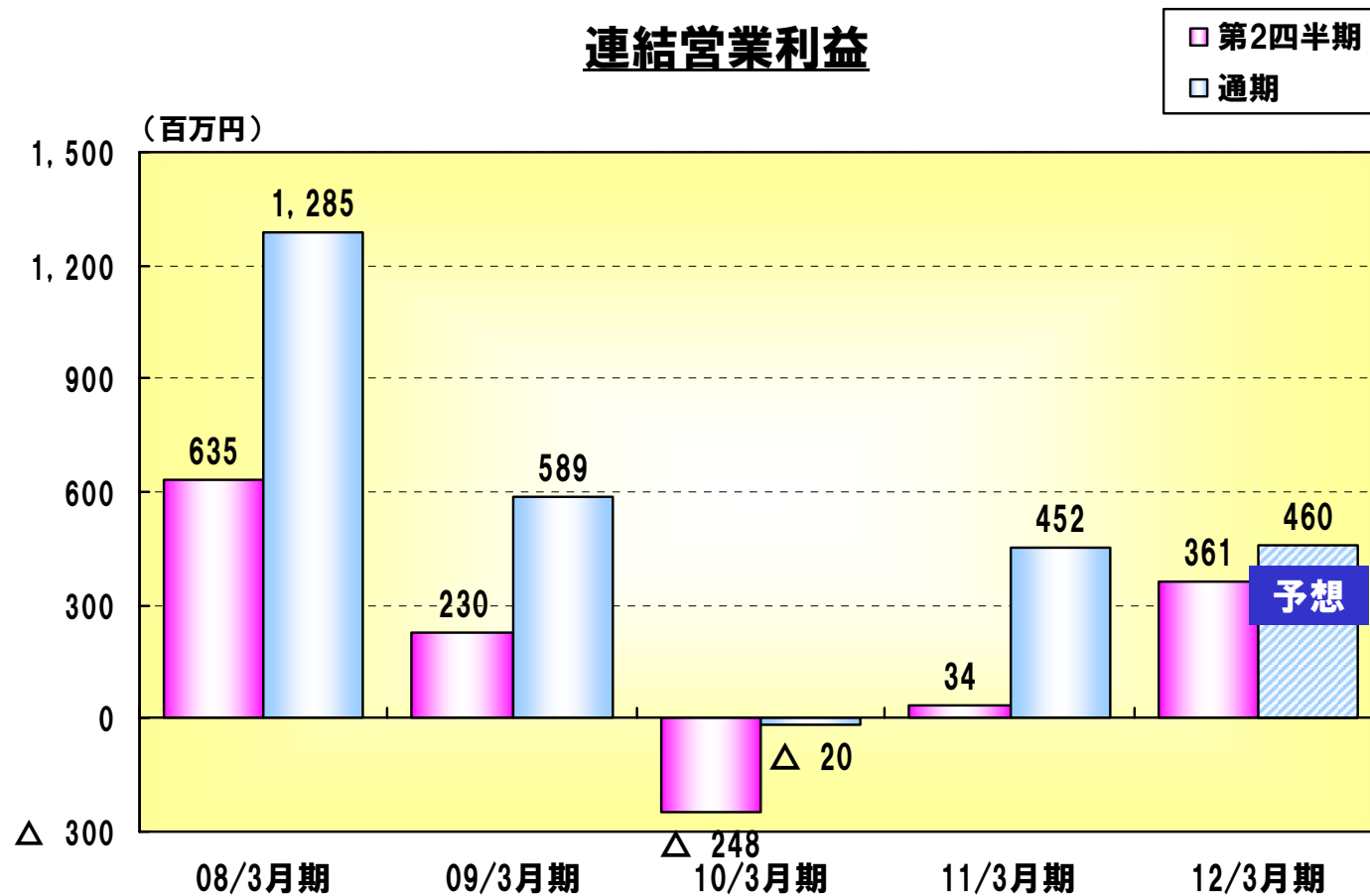


【決算概要】連結売上高

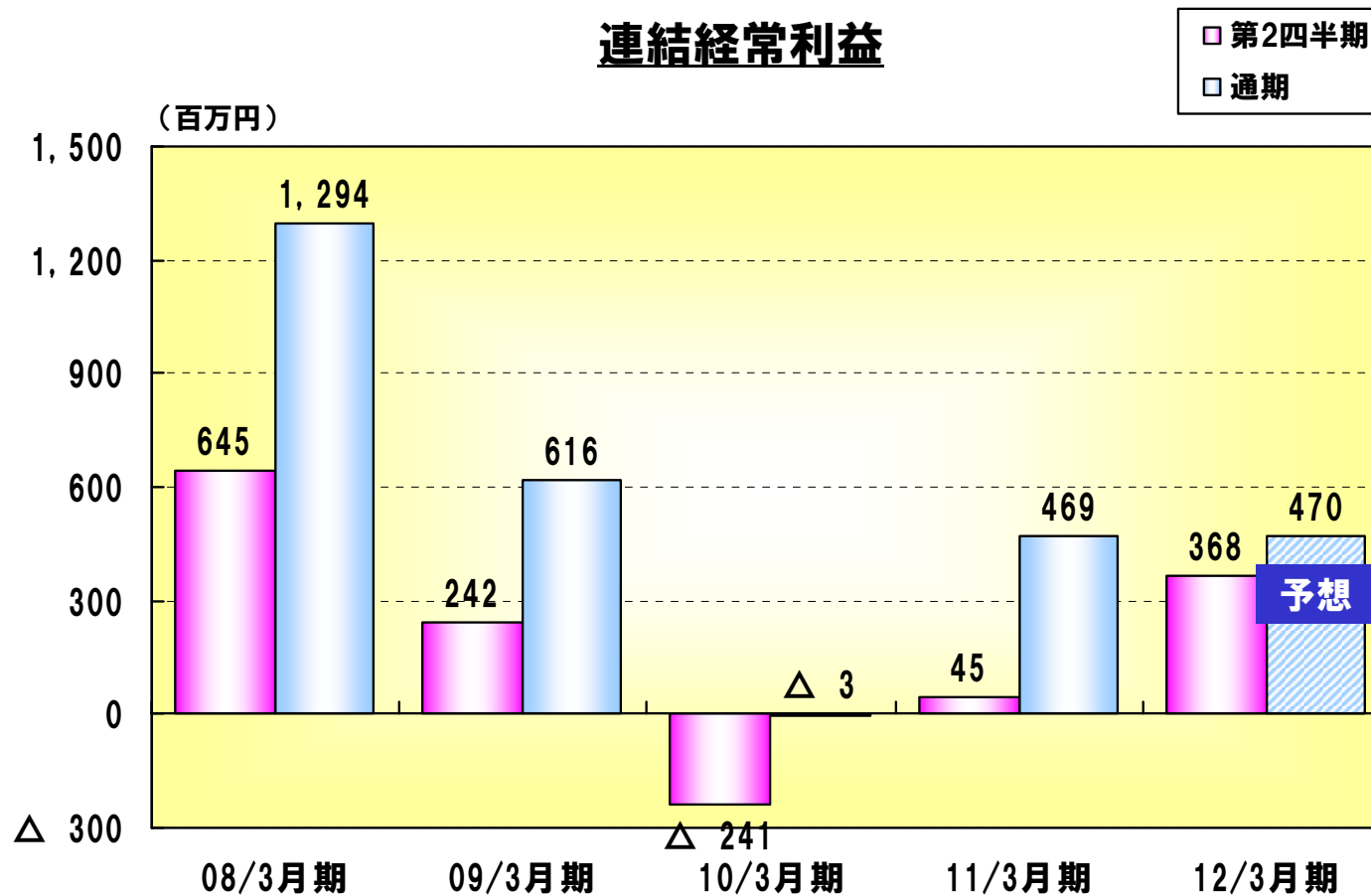
連結売上高



【決算概要】連結営業利益

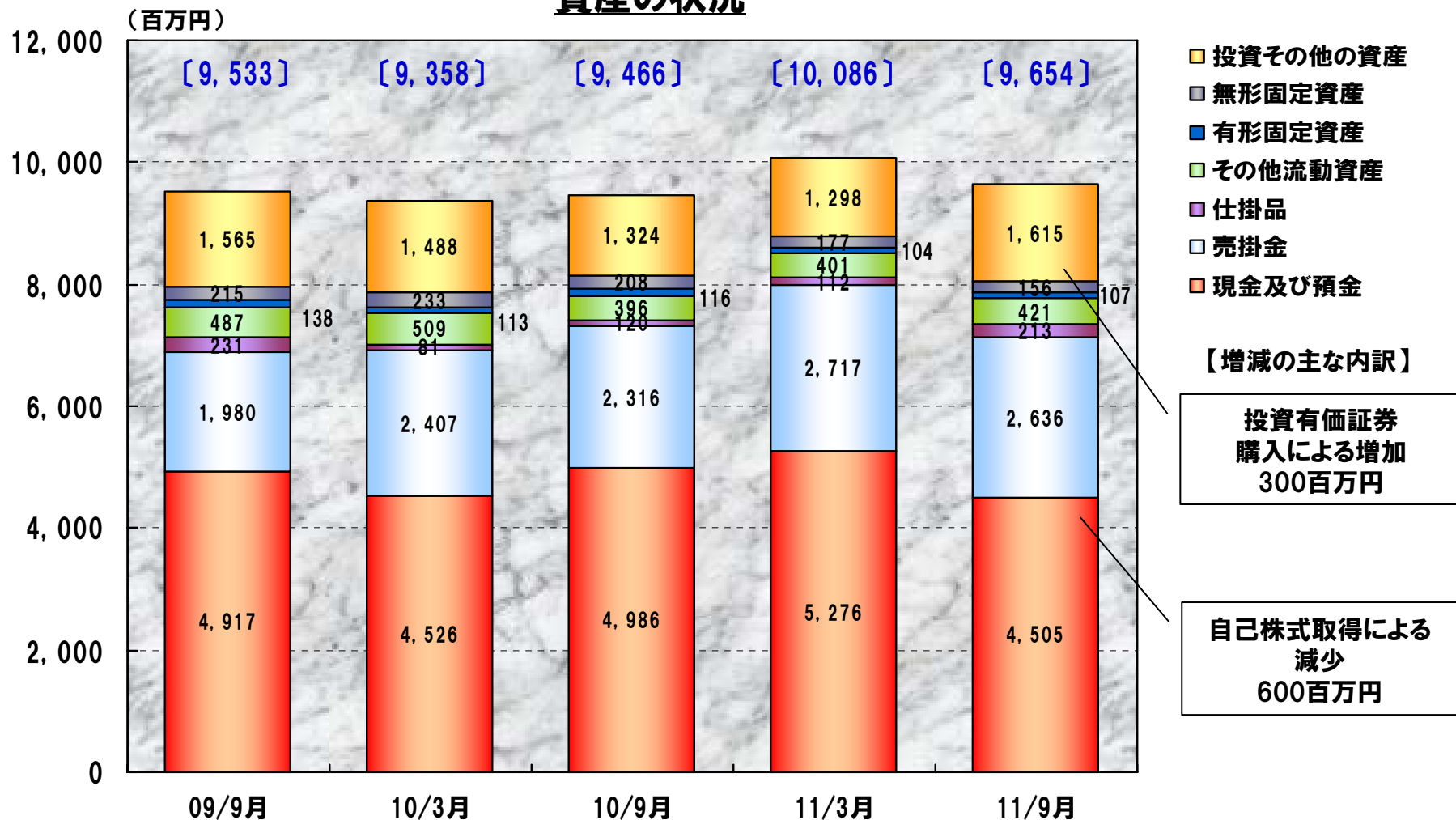


【決算概要】 連結経常利益



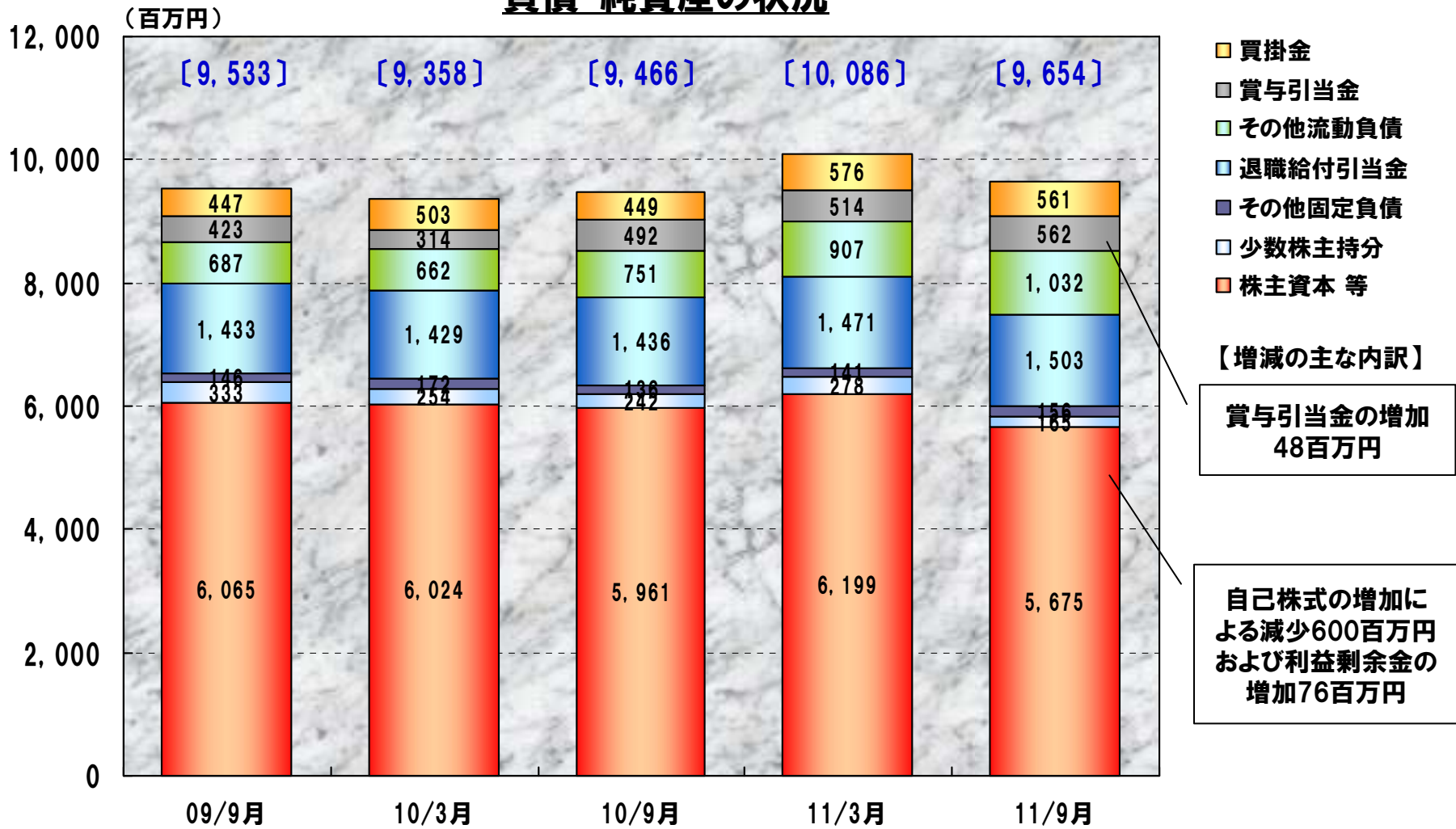
【決算概要】連結 B/S〔資産の部〕

資産の状況



【決算概要】連結 B/S〔負債・純資産の部〕

負債・純資産の状況



【決算概要】連結 C/F

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

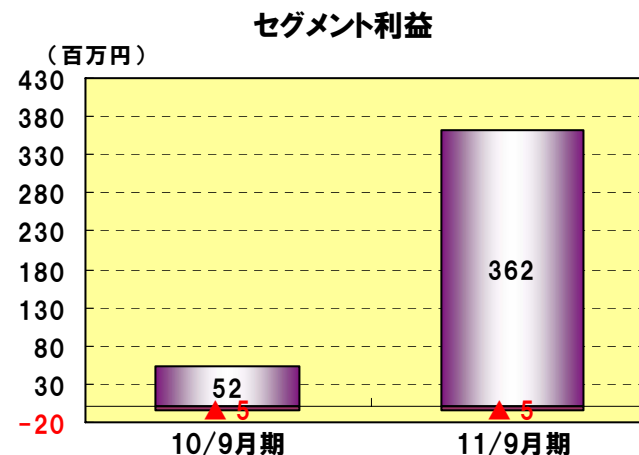
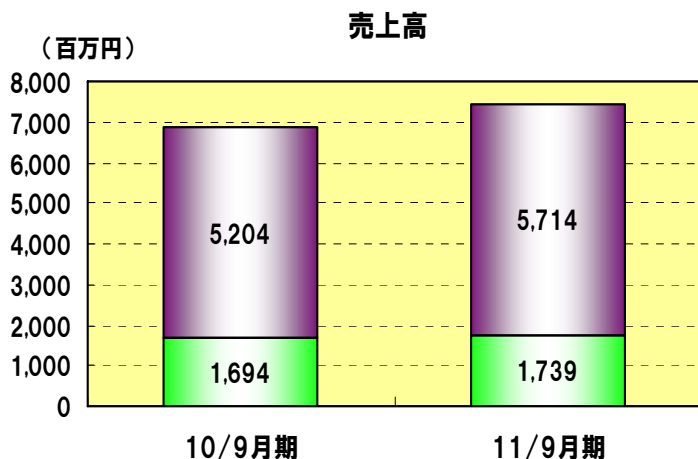
	2010/9月期	2011/9月期	増減		主な内訳
営業活動によるC/F	436	321	△115		(営業活動によるC/F) 税金等調整前四半期純利益266百万円、減価償却費46百万円、売上債権の減少81百万円、移転損失引当金の増加99百万円等による資金増加、たな卸資産の増加101百万円、法人税等の支払額171百万円等による資金減少 等
投資活動によるC/F	△343	△150	193		
財務活動によるC/F	△33	△642	△609		
現金等の増減額	60	△471	△531		(投資活動によるC/F) 定期預金の純減少額300百万円、投資有価証券の取得による支出300百万円、関係会社株式の追加取得による支出113百万円 等
現金等の期首残高	3,326	3,676	350		(財務活動によるC/F) 自己株式の取得による支出600百万円、配当金の支払35百万円 等
現金等の期末残高	3,386	3,205	△181		

【決算概要】セグメント別損益

(百万円)

	売上高		セグメント利益		セグメント利益率	
	2010/9月期	2011/9月期	2010/9月期	2011/9月期	2010/9月期	2011/9月期
コンサルティング・システム開発事業	5,204	5,714	52	362	1.0%	6.3%
マネージメントサービス(BPO)事業	1,694	1,739	△5	△5	△0.3%	△0.3%
合計	6,898	7,452	47	357	0.7%	4.8%

※セグメント合計額と連結財務諸表計上額とは、差異調整が生じているため一致しておりません。



【決算概要】セグメント別損益（コンサルティング・システム開発事業）

（百万円）

	コンサルティング・システム開発事業	
	2010/9月期	2011/9月期
売上高	5,204	5,714
セグメント利益	52	362
セグメント利益率	1.0%	6.3%

当第2四半期の状況

- ・会計システムのコンサルティングにおいては、IFRSの強制適用時期の延期に伴う同テーマに係わるコンサルティング案件の中断もしくは先送りなどの影響により、前年を若干上回る状況にとどまる。
- ・システム開発においては、純粹なIFRS対応ではなく、IFRSを機に既存システムの刷新等を行う開発需要が中心になっており、各プロジェクトにおいて高い利益率を確保、利益の増加に貢献。
- ・金融業界のシステム開発については、市況としては顧客企業の情報化投資が依然抑えられた状況の中、主要顧客への重点的な営業活動により前年を上回る受注・売上を確保。

【決算概要】セグメント別損益（マネージメントサービス(BPO)事業）

（百万円）

	マネージメントサービス(BPO)事業	
	2010/9月期	2011/9月期
売上高	1,694	1,739
セグメント利益	△5	△5
セグメント利益率	△0.3%	△0.3%

当第2四半期の状況

- ・国内企業を中心とした給与・労務等に係わるアウトソーシングについては、震災の影響で受注の停滞が継続しているとともに案件が小規模化し、また顧客企業による減額要求や人員削減、内製化の動きにより売上が減少。
- ・外資系企業を中心とした経理・財務等のアウトソーシングについては、大型のSPC案件のクローズ、不採算プロジェクトの発生、販管費増加の影響を受け、売上・利益とも前年を下回る。
- ・外資系企業に対するIT技術者の派遣については、外資系企業の経営環境が厳しい状況が継続、派遣契約の解除を新規契約で補填することができず、売上が減少。
- ・医療機関に対する人材派遣・事務請負及び国内人材派遣は売上・利益とも前年を上回る実績を確保。

【決算概要】グループ各社の業績

(百万円)

	売 上				経常利益			
	2010/9月期	2011/9月期	対前年同期増減		2010/9月期	2011/9月期	対前年同期増減	
	(※1) 3,244	3,462	218	↑	(※1) 64	327	263	↑
	197	272	75	↑	△14	4	18	↑
	1,876	2,076	200	↑	39	79	40	↑
	277	244	△33	↓	21	3	△18	↓
	118	173	55	↑	△16	3	19	↑
	500	511	11	↑	△13	△19	△6	↓
	484	523	39	↑	9	22	13	↑
	285	274	△11	↓	△16	△27	△11	↓
(※2) 連結業績	6,846	7,382	536	↑	45	368	323	↑

(※1) BBSの2010/9月期の実績は、2011年1月に吸収合併を行ったGABの実績を含めて表示しております。

(※2) 連結業績は連結による消去等の調整を行った数値ですので、個別会社の単純合計値とは一致しません。

今期の取り組み

【今期の取り組み】BBSグループ方針

■2011年度 BBSグループ方針

IFRSビジネスの着実な推進

マネージメントサービス事業の拡大

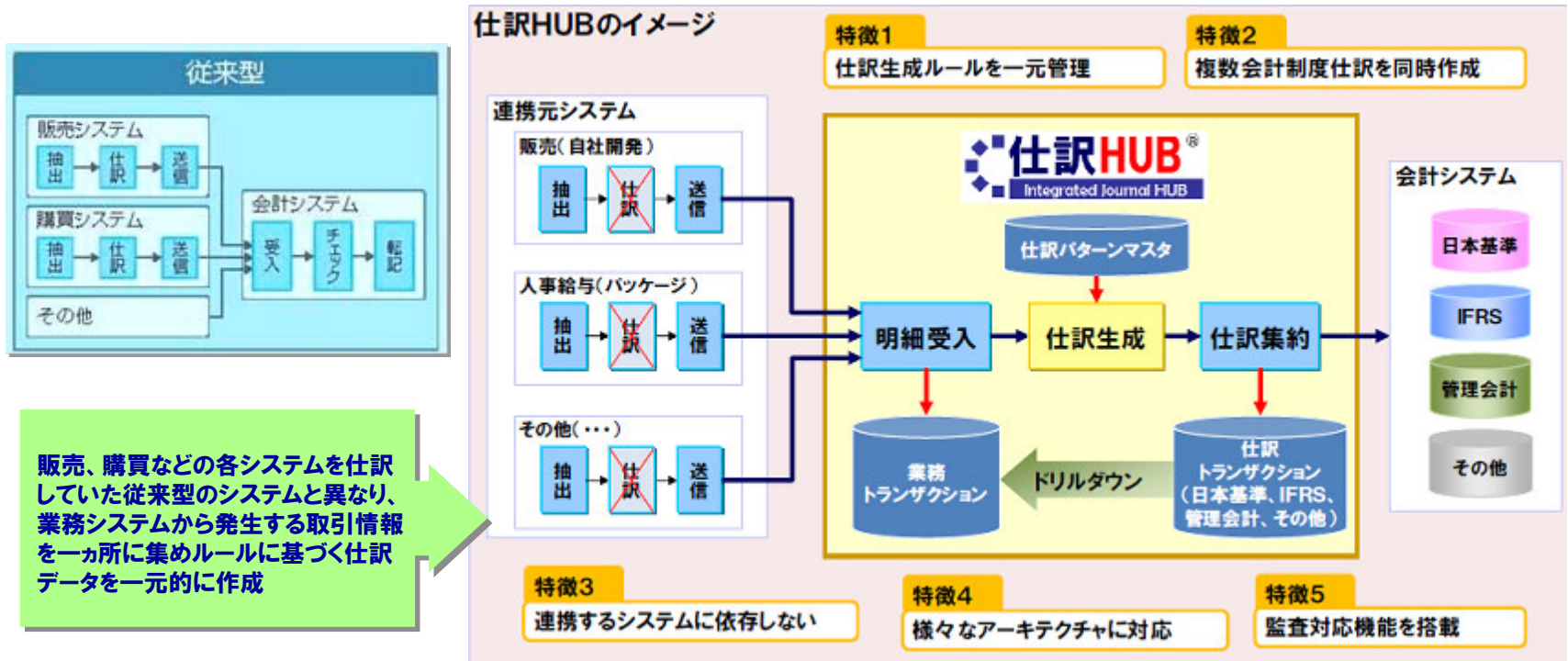
中国ビジネスの立ち上げ

【今期の取り組み】IFRSビジネスの着実な推進

■仕訳HUB[®]ソリューションの提供を開始

企業内システムのIFRS対応と業務効率向上を同時に達成するために
成功のカギを握るのは インターフェ이스の改修

仕訳HUB⇒仕訳生成を一元的に管理することでシステム間インターフェイス機能を統合するソリューション



【今期の取り組み】マネジメントサービス事業の拡大

■(株)EOSと(株)パナッシュを合併

経営の効率化とアウトソーシングサービス事業の拡大を図ることを目的とし、ともに主として外資系企業に対しバックオフィス系のトータルアウトソーシングサービスを提供している EOS (人事・給与・労務、財務・経理等)と PANACHE(IT関連および人材派遣・人材紹介)を合併

【合併予定日】2011年12月1日

【新 商 号】株式会社 EPコンサルティングサービス

EOS

経理・財務分野アウトソーシング
資産流動化等ストラクチャードファイナンスに
おける特別目的会社(SPC)業務
給与計算・社会保険業務
アウトソーシング 等



PANACHE
IT SOLUTIONS

IT運用管理サービス
ITインフラ構築コンサルティング
人材派遣・紹介予定派遣社員
人材紹介 等

【今期の取り組み】中国ビジネスの立ち上げ

- 中国進出した日本企業のERP構築事例を横展開
業務・情報システムコンサルティングサービスを提供

一
気
通
貫

- ・業務分析
- ・業務改革構想立案、実施(開発)計画立案
- ・業務制度、ルールの構築
- ・業務、情報システム(仕組み)基本設計
- ・詳細設計、開発、導入
- ・仕組みの定着化



【今期の取り組み】業績予想

(百万円)

	2012/3期 第2四半期実績	2012/3期 通期見通し	2011/3期 通期実績	通期差異
売上高	7,382	15,500	14,430	1,070
営業利益	361	460	452	8
経常利益	368	470	469	1
四半期(当期) 純利益	111	240	228	12
1株当り配当金額	5円	5円	(中間) 4円 (期末) 4円	2円

※通期の業績予想につきましては、今後想定される経済環境において不確定要素が多く存在するため、現時点での修正は行っておりません。

トピックス

【トピックス】

■ 本社移転

都内3ヶ所に分かれているグループ各社の事業所を1ヶ所に集中させることにより、相互の連携の強化と業容の拡大を図ることを目的とし、本社を新所在地へ移転

【移転予定日】

2012年5月上旬

【新本社所在地】

東京都港区西新橋一丁目2番9号
日比谷セントラルビル



■ 自己株式の取得

取得の理由：経営環境の変化に対応した機動的な資本政策遂行のため

取得した株式の総数：1,380,000株

取得価額：600,300,000円

取得日：平成23年8月16日

■ 株式上場 20周年

2011年11月14日

■ BBS創立 45周年

2012年8月26日

【トピックス】

■ BBSフォーラム

第3回 IFRS時代の経営管理フォーラム 開催

共催 株式会社日立ソリューションズ（於 東京コンファレンスセンター・品川）

2011年10月24日（月）「日本を明るく元気に！グローバル経営の実践に向けて」と題し、第3回 IFRS時代の経営管理フォーラムを開催。（参加 約200名）
初の試みとして、弊社お客様による講演を実施。

- 元気講演 落語家 桂 文楽 師匠
- お客様講演 「中国プロジェクト～中国進出の背景と現状、及び将来への施策～」
（株式会社ダイドーリミテッド様）
- BBS講演 「欧米企業の実態から見るグローバル連結経営管理の常識・非常識」



本日は、ご参加いただきありがとうございました。

(ご注意)

本資料記載の業績予想は、現時点において見積られた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいて記載しております。従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものでもありません。

当資料に関するお問合せ

株式会社ビジネスブレイン太田昭和

管理本部 人事総務部

TEL:03-5730-3611